ELSONIC LEDシーリングライト EICL3006DL／EICL3508DL／EICL4212DL

共通取扱説明書

保管用

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●使用環境：一般屋内

この商品は、海外では
ご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

●**使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。**
●この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
●この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
●「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

安全上の注意

安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

図記号の意味　⚠ 注意を促す記号です。　⃠ 禁止を示す記号です。　❗ 必ず行うことを示す記号です。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

禁止

改造や、部品交換をしない
落下・感電・火災などの原因になります。

調光器を使用しない
破損や発煙の原因になります。
（配線器具の交換は資格が必要です。）

可燃物で覆わない
可燃物を被せたり、近づけたりしない
火災の原因になります。

取り付けできない天井・配線器具に取り付けない
「取り付けできない天井・配線器具」に記載された場所や配線器具には取り付けないでください。落下・感電・火災などの原因になります。（配線器具の交換は資格が必要です。）

必ず実施

取り付けは確実に行う
落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に取り付けてください。

異常を感じたら速やかに電源を切る
すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

交流100Vで使用する
火災・感電のおそれがありますので、定格電圧以外では使用しないでください。

清掃・取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る
感電の原因になります。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

禁止

LED光源を直視しない
目を傷める原因になることがあります。

点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない
やけどの原因になることがあります。

破損した場合は使用しない
落下してけがの原因になります。
破損した場合は修理を依頼してください。

温度の高い場所で使用しない
火災の原因になります。

屋外や湿気の多い場所で使用しない
故障や感電の原因になります。

水洗いしない
火災・感電の原因になります。
「お手入れについて」を参照し、水につけたり、水をかけたりしないで清掃してください。

薬品を使用しない
変形・火災の原因になります。
殺虫剤、かび取り剤などをかけないでください。

必ず実施

1年に1回は自主点検を実施する
長期間の使用による発煙・発火・感電などの事故を防ぐため、保証書の「安全チェックシート」を参照し、定期点検を実施してください。
設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。
※参考使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、
年間3,000時間点灯した場合。
（JIS C8105-1解説による）

ご使用についてのお知らせ

●1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。
●付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器（テレビなど）には使用できません。
●本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。
●点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
●3Dテレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが反応しにくくなることがあります。
●天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなることがあります。
●ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく本照明器具から離して使用してください。雑音が入る場合があります。
●照射距離が近い場合、照射面で光むらがでることがあります。
●調色によっては全光束、消費電力、固有エネルギー消費効率が変わる場合があります。
●本照明器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。長期間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
●LED照明は、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なることがあります。
●本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
●停電復帰時や、予期せずにごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあります。
●充電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
●エアコンの吹き出し口近くへの設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。
●防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

仕様

品　番	消費電力	器具光束	定格電源電圧	定格電源周波数	待機電力	サイズ	質量
EICL3006DL	30W	3300lm（最大点灯時）	AC100V	50Hz/60Hz	0.5W	φ450 × H110 mm	約1.2kg
EICL3508DL	35W	4000lm（最大点灯時）					
EICL4212DL	42W	5200lm（最大点灯時）					

※LED モジュール寿命は 40,000 時間です。LED が点灯しなくなるか、光束が 70% に低下するまでのいずれか短い時間を推定したもので、製品の寿命を保証するものではありません。
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

アイリスオーヤマ株式会社
〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ https://www.irisohyama.co.jp/

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

専用パーツのご購入
アイリスオーヤマ
公認通販サイト

製品に関するお問い合わせ アイリスコール 0120-311-564（通話料無料）／修理に関するお問い合わせ 修理専用コール 0800-170-7070（通話料無料）
【お電話での受付時間】平日 9:00～17:00、土日祝日 9:00～12:00／13:00～17:00（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

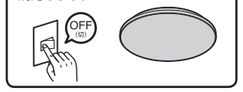
明かりをつける

壁スイッチで操作する

■壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチ ON：点灯(ラストメモリー)
壁スイッチを切る前の明かりを再現します。

壁スイッチ OFF：消灯
消灯します。



■壁スイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチをONにした状態で、短く(1秒以内)スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。

⚠ 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。

リモコンで操作する

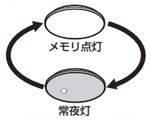
①壁スイッチを「ON」にする

②リモコンを本体に向けてボタンを操作する

信号を受信すると本体から「ピッ」という音がします。

■明かりをつける

メモリ点灯／常夜灯ボタン
メモリに記憶されたお好みの明るさで点灯（メモリ点灯）させたり、常夜灯を点灯させたりします。
ボタンを押すたびにメモリ点灯→常夜灯と切り替わります。



※出荷時に記憶されている明かり（点灯状態）は全灯です。

全灯ボタン
100%の明るさで点灯させます。

消灯ボタン
明かりを消灯させます。

30/50%節電ボタン
各光色での最大の明るさの70%/50%の明るさで点灯させます。

常夜灯 明・暗ボタン
明かりを1段階明るく(暗く)します。

メモリ設定ボタン
調光ボタンで設定した明るさを記憶させます。
ボタンを押すと、「ピピッ」と音がします。
メモリ点灯ボタンを押したり、壁スイッチで切り替えると再現できます。
※常夜灯のメモリ設定はできません。

■明るさを変える

シーリングライトの明るさを調節します。ボタンを押すと、「ピッ」と音がします。調光範囲をこえると、「ピピッ」と音がします。

調光ボタン［明るく］
明かりを1段階明るくします。
ボタンの長押しで、明るさを連続調節できます。

調光ボタン［暗く］
明かりを1段階暗くします。
ボタンの長押しで、明るさを連続調節できます。

調色ボタン［白色(昼光色)］
光の色を1段階白色に近づけます。
ボタンの長押しで光の色を連続調節できます。

調色ボタン［暖色(電球色)］
光の色を1段階暖色に近づけます。
ボタンの長押しで光の色を連続調節できます。

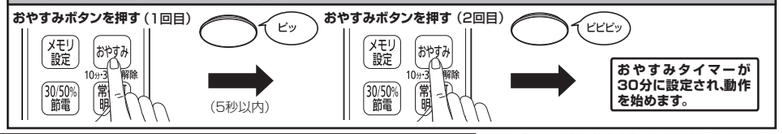
おやすみボタン
おやすみタイマーの設定と解除を行います。

おやすみタイマーを使う

リモコンで操作します。設定後、徐々に暗くなり、設定時間（10分または30分）で消灯します。

おやすみタイマー10分：おやすみボタンを1回押す

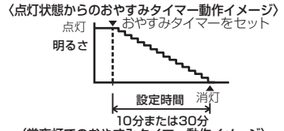
おやすみタイマー30分：おやすみボタンを2回押す



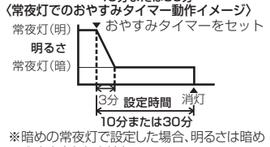
おやすみタイマー解除：おやすみボタンを3回押す

メモリ設定ボタン、おやすみボタン以外のボタン（調光ボタン、全灯ボタンなど）を押してもおやすみタイマーは解除されます。

〈点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ〉

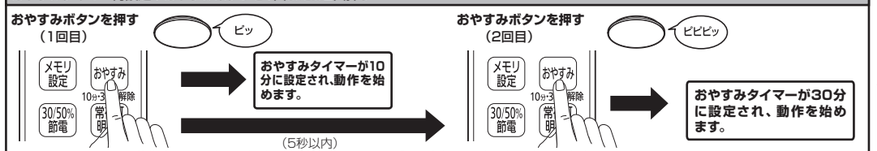


〈常夜灯でのおやすみタイマー動作イメージ〉



※暗めの常夜灯で設定した場合、明るさは暗めのまま変わりません。

おやすみタイマー再設定：おやすみボタンを1回または2回押す



おやすみタイマーの動作中に再設定する場合は、もう一度おやすみボタンを押して時間を設定してください。
おやすみタイマー設定前の明るさに戻り、設定された時間で徐々に消灯します。

ご注意
●壁スイッチをOFFにしたり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。
●おやすみタイマーで消灯した場合、再点灯させるには、リモコンで点灯させるか、壁スイッチを短く（1秒以内）操作して点灯状態を切り替えて点灯させてください。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状　態	考えられる原因	処　置
リモコンで照明器具が操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない。	「チャンネルの設定変更について」を参照し、チャンネルを合わせてください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチを ON にしてください。
調色すると暗く感じる	光の色合いによって、最大の明るさは異なります。全灯時を 100% とすると、電球色、昼光色へ最も調色した時は最大値が約 60% の明るさとなりますが故障ではありません。	
壁スイッチをONにしても点灯しない	照明器具が「消灯」状態になっている。	「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く(1 秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ON にしてリモコンで切り替えてください。
操作していないのに明かりがついたり、変わったりする	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります。	ご使用にならない時は、壁スイッチを OFF にしてください。
		「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く(1 秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ON にしてリモコンで切り替えてください。
明かりが繰り返し変化する	工場出荷時の試験点灯モードになっている。	壁スイッチを OFF にするか、リモコンのメモリ設定ボタンとおやすみボタンを同時に 5 秒以上押して、試験点灯モードを解除してください。

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。

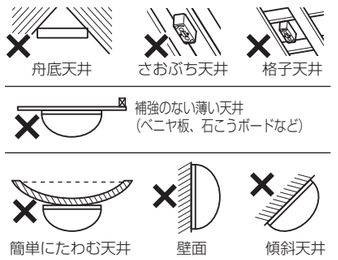
⚠警告　ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

641811
250521-OGR-LXD-01
P260521-OGR-LXD-01

取り付けできない天井・配線器具

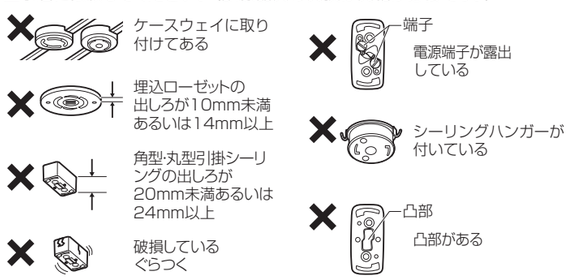
次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



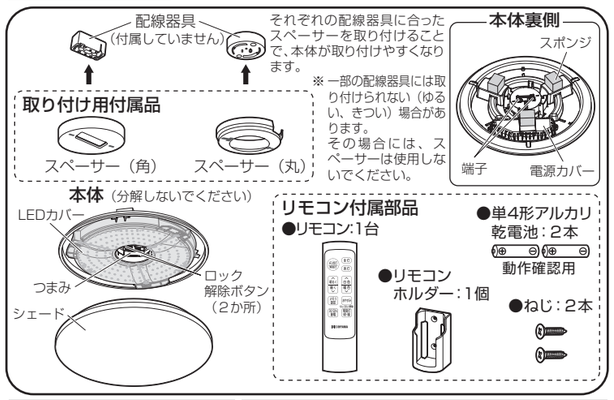
次のような配線器具には取り付けない

火災・感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事店に依頼してください。(配線器具の交換は資格が必要です。)



各部の名称

●組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
●表記以外の部材は梱包材です。



リモコン収納のしかた

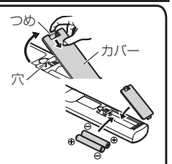
リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。

※収納した状態では操作しないでください。

乾電池の入れかた

1 つめを押しながら、裏面のカバーを持ち上げる

2 表示に合わせて⊕⊖を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める



●電池の寿命は新品の単4形アルカリ乾電池を使用したときで、約1年です。付属の電池は動作確認用であり、上記より早く消耗することがあります。
●電池を交換するときは、2本とも新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。
●新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
●長時間使用しないときは、電池を取り出して保管してください。

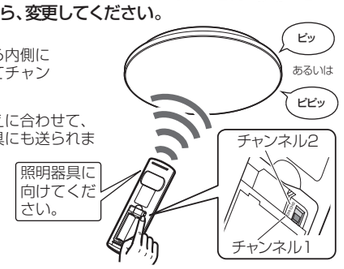
チャンネルの設定変更について

※出荷時はCH1に設定されています。

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON(入)になっていることを確認してから、変更してください。

リモコンの裏カバーを外します。
リモコンを照明器具に向けながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを変更してください。

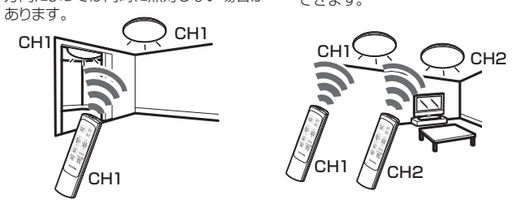
※リモコンのチャンネル切り替えに合わせて、チャンネル設定信号が照明器具にも送られます。



複数の照明器具がある場合

●1つのリモコンで操作する
複数の照明器具を同じチャンネルに設定します。
※照明器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。

●別々のリモコンで操作する
隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。



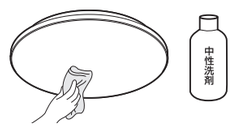
ご注意
別の照明器具がリモコンの信号を受けると、チャンネルの設定が変わってしまいます。設定を変更したい照明器具だけが信号を受けるようにリモコンを向けて設定してください。
※個別の壁スイッチがあれば片方をOFF(切)にしたり、間に扉があれば扉を閉めたりすると効果的です。

お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃することをおすすめします。

⚠注意
●必ず壁スイッチをOFF(切)にするか、電源を遮断してください。感電の原因となります。
●消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。

1 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る



2 汚れが落ちたことを確認後、洗剤分を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

●リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。

次のものは使用しない

⚠注意
絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災・感電・故障の原因になります。

取り付け

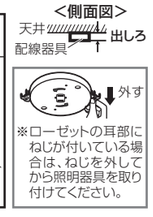
⚠警告　取り付けは必ず電源を遮断してから行ってください。

1 天井についている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法と形状を確認する

⚠注意
高所での作業になります。
必ず足元の安全を確保してから行ってください。

※下図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。電気店、または工事店に工事を依頼してください。
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

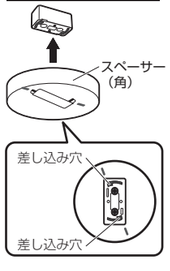
天井からの出しろ	20mm以上24mm未満			10mm以上14mm未満	
形状	角型引掛シーリング 角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング・ローゼット 丸型引掛シーリング	耳部 フル引掛ローゼット	丸型フル引掛シーリング	埋込引掛ローゼット 埋込ローゼット(耳つき)	耳部 埋込ローゼット(耳なし)



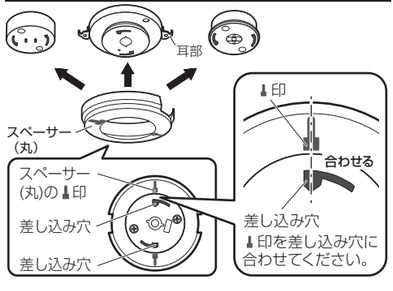
2 配線器具にスペーサーを取り付ける

それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、本体が取り付けやすくなります。(埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。)
※一部の配線器具には取り付けられない(ゆるい、きつい)場合があります。
その場合には、スペーサーは使用しないでください。

角型引掛シーリングの場合

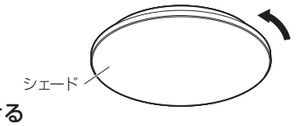


丸型引掛シーリング・ローゼットの場合



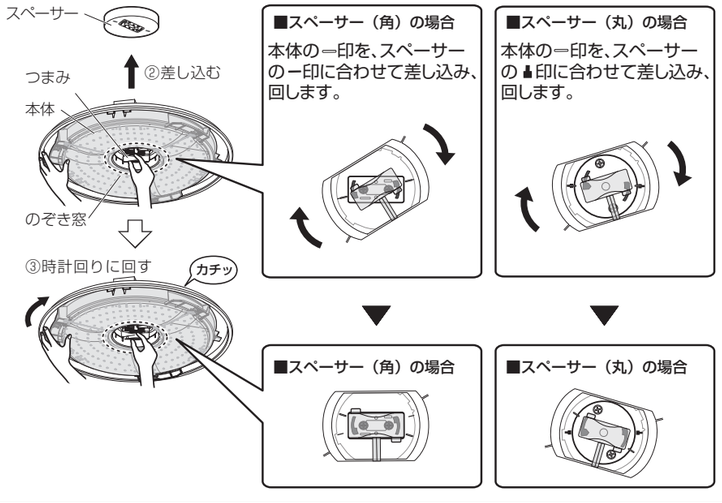
3 シェードを取り外す

シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。



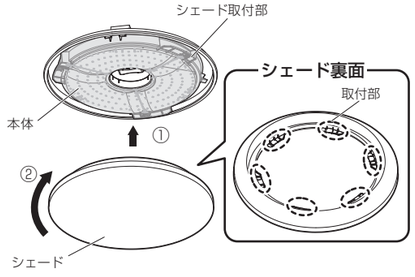
4 本体を取り付ける

①本体中央のつまみを持ち、のぞき窓から配線器具の(端子)差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。
※ スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。
②そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。
③つまみを時計回りに回します。
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。
※ロック解除ボタン(「取り外し」参照)は押さずに回してください。
押しながら回すと「カチッ」と音がしません。
※配線器具の種類によっては「カチッ」と音がしない場合があります。



5 シェードを取り付ける

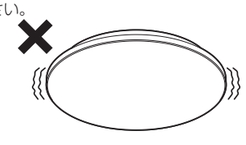
①シェードの取付部が本体のシェード取付部の間に入るように合わせ、シェードを押しつけながら時計回りに軽く回してください。
シェードの取付部が本体のシェード取付部に入ります。
②シェードの回転が止まるまで時計回りに回し、確実に取り付けてください。



⚠注意
本体を必要以上に回転させないでください。
引掛シーリングやローゼットが破損します。

⚠警告
シェードは確実に本体に取り付けてください。
落下によるけがのおそれがあります。

照明器具がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。



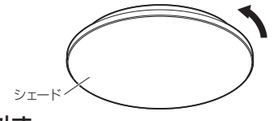
※取り付け後、使用したときに異常が見られた場合は、壁スイッチを切り、もう一度照明器具を外して、取り付けなおしてください。

取り外し

⚠警告
●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
●消灯直後は照明器具の中が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

1 シェードを取り外す

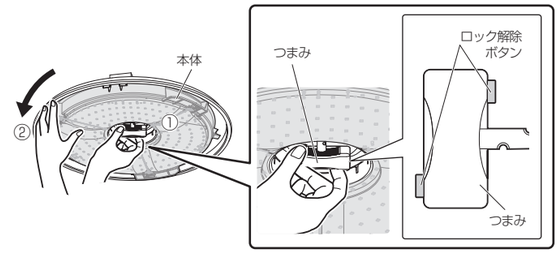
シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。



2 本体を取り外す

①つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ同時に押しながら、
②反時計回りに回して本体を外してください。

⚠注意
本体を片方の手で支えながら外してください。
本体の落下によるけがや破損の原因となります。



3 スペーサーを取り外す

⚠注意
本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。